

架け橋



発行 上都賀教育事務所ふれあい学習課
 鹿沼市今宮町 1664-1
 TEL: 0289(62)7167 FAX(62)0148
 Email: kamitsuga-kyouiku@pref.tochigi.lg.jp

第4号(令和2年9月)

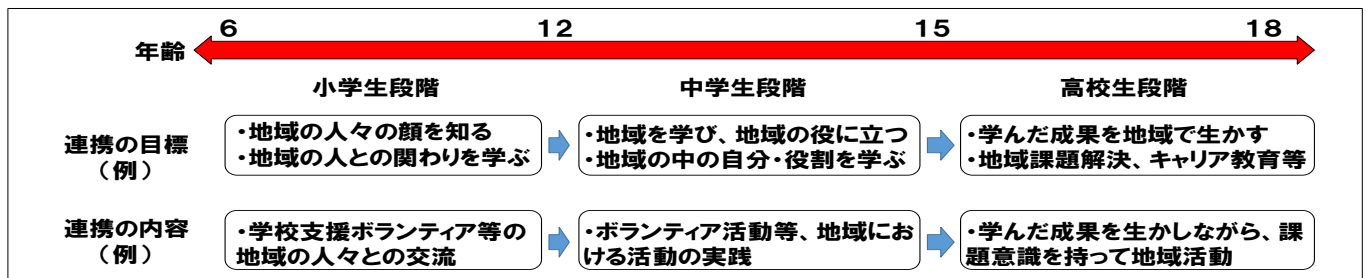
新型コロナウイルス感染症拡大防止に努力されていることに対し、敬意を表します。そのような中ですが、国の第10期生涯学習分科会では、今後の生涯学習・社会教育の在り方が検討され、このほど「議論の整理(案)」が示されました。今回のテーマは、「人と技術の融合で、広がり、つながる、生涯学習・社会教育～命を守り、誰一人として取り残すことのない社会の実現～」で、対面とオンラインによる「つながり」を組み合わせることや、感染症や災害に対する課題解決の機会を通じた「命を守る」生涯学習・社会教育の充実の重要性が挙げられています。同時に、学校教育だけでなく、社会教育においても、それぞれの場で学びを止めないことの重要性と新たな可能性についても言及されています。

ふれあい学習課の事業においても、こうした視点で新たな生涯学習・社会教育への転換を目指し、熟議をすすめております。

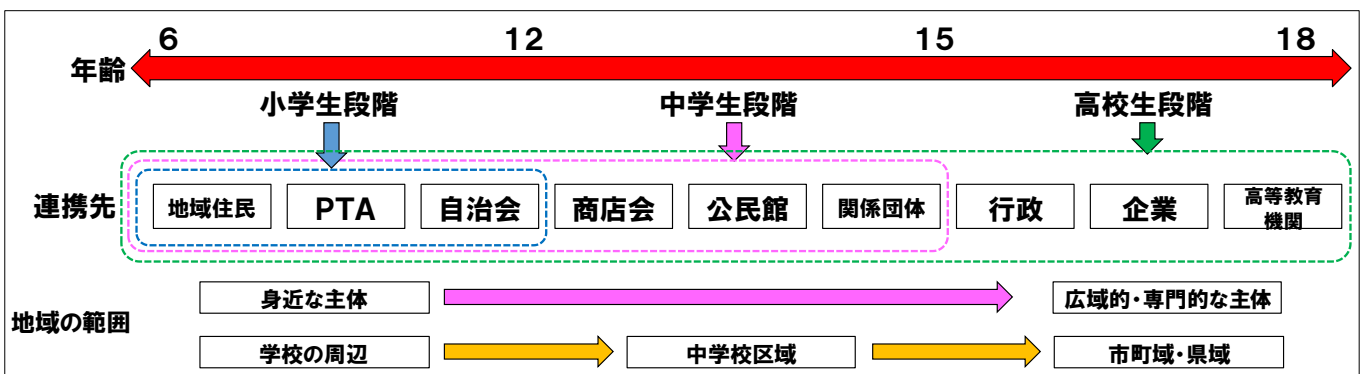
発達段階による連携活動の目安と地域の捉え方

地域との連携活動を企画する際に、何をどこまで実施すれば良いのか、地域をどう捉えれば良いのか地域連携教員の方から御質問をいただくことが多くあります。

連携活動の目的は子ども達の教育活動の充実にありますので、求められる活動内容は、発達段階によって必然的に違ったものとなります。下の図のように、発達の段階ごとに地域との連携活動を積み重ねることが、子ども達の生きる力の基盤を作っていくことにつながります。目標を明確にした上で連携活動の内容を検討、改善していくことが重要になります。



各発達段階における連携活動の目標から考えると、小学生段階では地域の人々との交流として、学校支援ボランティア等の地域住民と接する機会が中心となることから、地域は「地域住民」や「PTA」「自治会」等の学校周辺エリア、中学生段階ではボランティア活動等で生徒が地域に出ていく活動が多くなることから「商店会」「公民館」「関係団体」等の近隣の地域以外、高校生段階はさらに広域が「地域」の目安と捉えることができます。(下図参照)



平成28年度栃木県地域連携教員活動支援リーフレット「学校と地域を結ぶ」より

お知らせ

令和2(2020)年度上都賀地区PTA指導者研修Ⅱの中止について

令和2(2020)年7月22日に開催いたしました上都賀地区小中高校PTA連絡会役員会で協議した結果、令和2(2020)年11月19日に開催予定の標記研修について、新型コロナウイルス感染症の全国的な拡大及び大規模イベント等の自粛要請を鑑み、中止とすることとしましたのでお知らせいたします。

新しい生活様式版「参加体験型学習」とは？

栃木県教育委員会では、これまで、社会教育の様々な場面において「参加体験型」の手法による学習を推奨してきました。プログラムを活用し、参加者同士が話し合いをしながら学習を行うことで、気づきによる参加者自身の学びに加え、参加者同士が交流し支え合える関係づくりや地域で子どもたちの健全な育成を支えるネットワークの構築にもつながると考えています。

しかし、今般のコロナ禍においては、その予防の観点から、従来の参加体験型の学習プログラムの実施が困難となる場面が増え、そのような中であっても、より効果的で十分な学習効果を得られる具体的な方法を探ったり、新しいプログラムを開発したりすることが求められるようになってきました。

そこで、今回は、上都賀教育事務所ふれあい学習課で作成した

「新しい生活様式版 家庭教育支援プログラム ~アイスブレイク集~」(R2.9)

の中から、3密を避けて実施可能なアイスブレイクをいくつか紹介いたします。どうぞ御活用ください。*こちらからダウンロードできます！→



知っていますか？100円玉

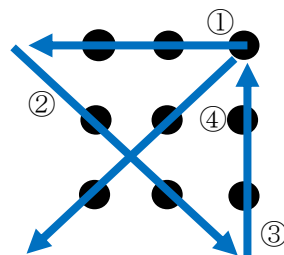
- ① 生活の中で100円玉をよく使っていることを確認します。
- ② 100円玉を思い浮かべ、表面を絵で描きます。
- ③ 実際のものと同じように見比べます。
- ④ 物事を正しく見るには、「意識する」ことが大切であることに気づきます。



ナインドット

- ① 9つの点を書きます。
- ② 4本の直線（一筆書き）で9つすべての点を通る線を描きます。
- ③ 9つの点からはみ出して線を入れなければ一筆書きにならないことを知ります。
- ④ 型にはまった考えから抜け出せない自分があることに気づきます。

<答え>



日の出

- ① 横を向きます。
- ② 左手をまっすぐ伸ばし（地平線）、右手をパー（太陽）にします。
- ③ 地平線を固定したまま太陽を上下に動かし、地平線と重なるところで手をたたいてもらいます。
- ④ ゆっくりからだんだん速くしたり、三三七拍子のリズムで動かしたりします。

赤いくつ

- ① 手の位置を確認します。
 - ・<右手>色を表します…上：赤、下：白
 - ・<左手>はきもの種類を表します…上：くつ、下：げた
- ② ファシリテーターの指示に従って、右手と左手を組み合わせます。
 - ・例：ファシリテーター：「赤いくつ」→参加者：<右手>下<左手>上
 - ・例：ファシリテーター：「赤いげた」→参加者：<右手>上<左手>下

<例>



イニシャル自己紹介

- ① 自分の名前を使って、元気の出る言葉をつくり紹介します。
 - ・例：と…ともだちたくさん
 - ち…ちいさなことは気にしない
 - ま…まえむきで
 - る…るんるん元気な とちまるです！

よろしくまる！

